

# がん化学療法処方

プロトコール名： 肺癌（非小細胞）放射線併用シスプラチン・ビルルビン療法（1クール28日）  
（下に実際の投与方法を記載）

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① パロノセトロン静注0.75mg+デキサート注射液9.9mg+生理食塩液50mL	div	15分
	② ロゼウス静注液 20mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液50mL	div	5分
	③ 硫酸Mg1mEq/mL 8mL + ソルデム3A500mL	div	60分
	④ マンニトールS 200 mL	div	30分
	⑤ シスプラチン注 80mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液250mL	div	60分
	⑥ ソルデム3A500mL	div	60分
d8	① 生理食塩液 50mL(プライミング用)	div	-
	② ロゼウス静注液 20mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液50mL	div	5分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d1	アプレピタントカプセル 125mg 抗がん薬投与の1時間～1時間半前に内服	p.o.	

プロトコール適応時表示コメント

総照射量60グレイ。  
Day2,3にアプレピタント80mg内服。  
Day2-4 デキサメサゾン8mg内服。

照射併用時照射線量

グレイ（備考欄）